

## 事業仕分けの導入について

### 【導入の契機】

第四次瑞穂市行政改革大綱（令和4年6月策定）の4つの重点項目のうちの「重点項目【3】事務事業の見直しと効果的な行政サービス」の「項目（2）事務事業の再編・整理・廃止・統合」において、「事業仕分けの導入」を進めることが謳われています。

### 【現 状】

現在、瑞穂市においては、新年度予算を編成するにあたり、第一段階として「事業ヒアリング」を実施しています。

これは、限られた予算を効果的に執行するために、新年度の事業全体を確認したうえで、事業の優先順位や規模の見直しを図ることを目的として、新規事業や主要・重点事業、継続事業の一つひとつについて、事業ごとに作成したヒアリングシートを基に、副市長をはじめとする財政部局によるヒアリングを課ごとに実施しているものです。

ヒアリングにて事業の要否について判断を行い、予算規模や予算配分の検討、ヒアリング後の各課の予算積算に反映しています。

### 【取組み】

上述のとおり、事業ヒアリングの実施によって、「事業仕分け」を実施しているということが言えますが、仕分け作業を更に明確なものとするための手法を導入します。

### 【手 法】

全体の概算要求額等を把握するためには、これまで通り全事業のヒアリングシートの作成が必要となりますが、その中でも特に市単独事業で費用対効果等の面から実施（継続）することに懸念がある事業を中心に、別途「事業評価シート（仮称）」を作成し、このシートに基づいた最終判断「事業仕分け」を財政部局において行います。

### 【報 告】

事業仕分けの結果については、その効果の検証を含めて行政改革推進委員会に報告することとします。

令和 年度	課 名
-------	-----

## 事業評価シート (案)

事業名	個別事業名 (必要に応じて)
-----	-------------------

事業期間	開始年度： 年度	終了年度： 年度
------	----------	----------

根拠法令等	
-------	--

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先： ) <input type="checkbox"/> 指定管理 (管理者： ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先： ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

事業概要	目的・必要性 (何のために)	
	対 象 (誰、何を対象に)	
	内 容 (手段、手法など)	

コスト			令和 年度 (概算)	令和 年度 (決算見込)	令和 年度 (決算)
	事業費 (千円)	内 訳	総 額		
財源内訳 (千円)	国・県				
	市債				
	基金				
	その他特財				
	一財				

事業実績	【実績指標名】	単位	令和 年度	令和 年度	令和 年度
			(実績値/目標値)		
			/	/	/
			/	/	/
			/	/	/
			/	/	/

事業成果	成果目標				
	成 果 (目標達成 状況)	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	評価	理由	

担当課 評価	必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	評価	理由	
	効率性	・受益者との負担関係は妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	評価	理由	
	有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	評価	理由	

担当課 今後の方針	1. 現状のまま継続    2. 改善しながら継続 3. 事業規模拡大      4. 事業規模縮小 5. 事業休止            6. 事業廃止	方針	理由	

※現時点での案であり、今後変更となる場合があります。